

## 袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会議名	令和6年7月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	令和6年7月30日(火)午後1時30分
会議時間	午後1時30分から午後3時16分まで（1時間46分）
場所	教育会館 3階ICT研修室
出席者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 大谷純應 委員 溝口知秀 委員 吉田陽子 委員 (計：5人)
欠席者	無し
傍聴者	無し
当局出席者	石黒克明 教育部長 小澤一則 教育監 山本 浩 教育企画課長 平野邦孝 未来の教育推進室長 戸塚建司 おいしい給食課課長 荒浪 健 子ども未来課長 戸塚隆雄 育ちの森所長 神田明治 学校教育課長 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 大庭尚文 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 白澤 崇 歴史文化館長 長谷川美德 教育企画課参事兼教育総務係長 (計：13人) (合計：18人)
会議に付した 事 件	別紙「令和6年7月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和6年6月 袋井市教育委員会定例会 日程  
会 議 日 程

日程第1 開 会

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 教育部月例事業報告

日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

(1) 報告事項

報第78号 教育施設等の包括管理業務委託の導入に向けて

報第79号 寄附品・寄附金の受納について

報第80号 令和6年度9月一般会計補正予算について

報第81号 新総合計画の策定及び人口ビジョンについて

報第82号 令和5年度学校給食費の収納状況について

報第83号 令和5年度保育料の収納状況について

報第84号 公立幼稚園の教育・保育環境のあり方検討について

報第85号 子育て支援センターの現状について

報第86号 (仮称)袋井市こども交流館あそびの杜整備に向けての進捗状況について

報第87号 袋井市「まちじゅう図書館」推進システム構築事業委託プロポーザル選定結果について

報第88号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

日程第7 その他

(1) 連絡事項

ア 令和6年度静岡理科大学市民体験入学の実施について

イ モザイク画でパブリックアートをつくろう！

ウ お面づくり！えほんワークショップ

エ 歴史文化館ミニ展示「袋井・オリンピックの記憶」

(2) 次回定例会等の予定について

8月教育委員会定例会

令和6年8月21日（水） 午後1時30分 教育会館3階 ICT研修室

(3) その他

日程第9 閉 会

1 開会

●教育長

2 会議録署名委員の指名

●教育長

鈴木委員 と 溝口委員 を指名

3 会議録の承認

●教育長

6月の定例会の会議録については、承認

4 教育長報告

●教育長

資料に基づき、主な内容を報告

5 教育部月例事業報告

●各課長

資料に基づき、各課長から主な事業を報告

6 議事

**【議決事項】**

●教育長

今回は、議決事項及び協議事項はございません。

**【報告事項】**

報第78号 教育施設等の包括管理業務委託の導入に向けて

●教育企画課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第79号 寄附品・寄附金の受納について

●教育企画課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第80号 令和6年度9月一般会計補正予算について

●教育企画課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

報第81号 新総合計画の策定及び人口ビジョンについて

●教育企画課長

資料に基づき説明

●教育長

市の新しい総合計画を作るということで、吉田さんにも総合計画審議会の委員をやっていただきまして、審議会が多分5回か6回位年間あるということ。これまでに2回開催されましたけれども、2年間かけて作るということと、それから地域編みたい地域ごとの計画も地域に相談しながら作るということ、その基となる人口で今は2060年に人口8万人を目標とするということ、さきほど3つのパターンがありましたけれども、政策的なパターンとしては人口8万人を目標に維持するという形です。とはいってもその内外国人が10数パーセントいてかなり外国人の比率が高くなると政策的なものがそこに入ってくるということが当然あるかなあとと思います。逐次報告していきますけれども、人口8万人を維持する前提条件として合計特殊出生率1.8位まで改善させる確かそんな前提があったと思います。今は確か1.4いくつが袋井市かだと思います。1.8まで戻すとなると少し努力をしなければいけないですし、可能性がどうかなあとの議論かもしれないです。そんな前提で人口8万人ということ、総合計画を作っていこうと思います。吉田さんから補足をお願いします。

●吉田委員

私は審議会に選ばれてそこに口を出せる立場になりましたけれども、私以外の教育委員の他の方たちも教育分野の市民の立場としていうことで基本構想だったり基本計画に携わるのは職務としてまっとうなすごく良い機会だと思うのですが、そういった機会を設ける予定があるのかどうか、もしなかったら作っていただきたいなあと思うのですが。

●教育長

恐らく企画の方で中身の文章とか政策の取り組みを整理していくのではないかと思います。その時には当然教育委員会の方にこういう形でどうだということ、協議があるかと思いますが、その時に恐らく教育委員の皆さんにお諮りをしてこんな内容で書くことで御意見いただきたいという事、場はあるかと思いますが、これから新しい取り組みなんか入れていこうかなあというような事も当然肝心かなめになってきますし、総合計画に書いてあるということがやっぱり大切な事であるので是非その機会は持ちたいなあ。その際には忌憚のない御意見を言っていただければと思います。またそこは企画の方

と相談します。

●部長

1つ目の資料の6ページをご覧いただきたいのですが。そこに策定の体制というのがあり一番右側にですね各課ごとにですねいろいろ枝葉の部分の施策を検討していく時に地域の方々、関係する方々と議論を重ねてという話があります。そこは先ほど教育長が言ったこういった所で、課として投げかけをして教育委員からの御意見を反映してというところかと思えます。このやり方が少しまだ細かく提示されていませんが、いずれにしても我々も教育委員の方々とキャッチボールしながらという形で進めていければ良いかと思えますのでよろしくお願ひします。

報第82号 令和5年度学校給食費の収納状況について

●おいしい給食課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

報第83号 令和5年度保育料の収納状況について

●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

報第84号 公立幼稚園の教育・保育環境のあり方検討について

●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

●鈴木委員

質問ではないのですが、1ページ目の園児数の表を見ると、今後のことを言っていたのですが、来年は多分年長児が出た後の入ってくる人が一桁の所が多くなるのではないのかなあと思うと、実際の所基本方針に当てはまらない所が多分多いのではないかなあ。来年の見通し。この前浅羽南幼稚園に訪問に行った時に今度入ってくる子の人数がなくてとてもクラスが編成できないというような所で募集をいろんな所にかけているというような話を聴いているのですが、来年について今のところ、分かることがあったら。

●子ども未来課長

今各園で聞き取りをやっておりますけれども、一番少ないところで袋井東幼稚園が2名

ということで、一番多い所が今の聞き取りの中では今井幼稚園が10名ということで。大体2名から10名という中で来年の入園児数ということを知っています。

●鈴木委員

どの学年も10人未満位になってしまうところが多い？複合をやるしかないということ？

●子ども未来課長

そうですね。

●吉田委員

今更言ってもですが、基本方針をせつかく定めて3歳児が20人程度だ、4歳児が30人程度でとかやっているのにその傾向がもう見られ始めている。平成31年度とか、令和2年度の時にもうその傾向があるのにやっと今からあり方検討会かという、遅すぎるなというのが率直な感想です。その中で来年の3月に方針案をまとめるって言った時のどうまとめていくのかなあと言うのがすごく疑問で、例えばもうこの園は閉鎖するだ、統合するだという具体的な案を3月までに取りまとめるということですか？

●子ども未来課長

今課の方で考えているのは、明後日、公立幼稚園の子どもの教育・保育環境のあり方についての検討会があって、今申し上げたように現状を説明するのですが、2回目の会議までには各園のパターンを作りまして、例えば2園統合であるとか3園統合であるとか、子ども園化とかいう要望も意見の中にはありましたけれども、8園ありますけれども園ごとのパターンを作成して、それを有識者の方に御意見をいただいて、またその結果地域とか保護者さんと地域の方へ同じ説明に入っていくということで、段々と方針をまとめていきたいなあと課の方では思っています。

●吉田委員

保護者が望む姿と地域の方が望む姿とは割と齟齬があったりするなあというのが割と園を回っていて感じるのですが、遅すぎると言いながら一年でまとめるのも大変ではないのかなあと思うのですが、できるだけ検討会とか意見交換会の機会を増やして地域の方達の同意も得られるような形でやっていただけたらなあと思います。

●溝口委員

今回公立の関係をまとめてもらったので公立の幼稚園とかの大体今までいろいろ話を聴いていると、要は幼稚園行くにしても、保育園に行くにしても子どもがどこの幼稚園・保育園に行きたいというのではなくて、あくまでも親のニーズなんですよねこれ。親がどこに行かせたいか、どこに入れないと自分の生活ができないかといったというのが体現されている結果かと思います。ですから公立以外の保育園とかも含めてこういうデータを作っていて、もうちょっとわかりやすいどういうふうに変化が動いているのかなあというのがもうちょっと見えればなあと思います。公立の方だけ見ていると子どもが減っている



報第87号 袋井市「まちじゅう図書館」推進システム構築事業委託プロポーザル選定結果について

- 袋井図書館長  
資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]  
なし

報第88号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

- 学校教育課長  
資料に基づき説明

- 溝口委員

新聞を見てICTの話は文科省が誘導しているかなあというそんな雰囲気を受けたのですが、今の話を聴いてどっちかというあまりそう考えないんじゃないのかなあと思っていましたので良かったのかなあと思っています。それから、無回答の状況についていろいろ今まで袋井市これに対しては力を入れて先生方もやっていたと思っていますのですが、なかなか改善しないということで、何か方向を変えないといけないのかなあという気もしないでもない。もし無回答を減らすという方向を続けるのであればもう少し策を考えないといけない、具体的に良くはわからないですけども思えてきました。無回答が回答がわからなくて書いていないのか、書き方がわからなくて書いていないのか、よくわからない。せっかく力を入れていただいているにもかかわらずなかなかその成果が見えないなあというのが感想です。

- 吉田委員

溝口委員の意見に付随する形になりますが、無回答を減らしていきたいということは自分で書く力を育てたいということですよね。そうするとやっぱりAIドリルはすごく合わないなあというのを感じていまして、特に国語なんかだと紙のドリルの時にはすごい書く欄があったのにAIドリルだとそれがなかったりすると、市のやっていきたいものとAIドリルは違う気がするので、授業だけでなくそういった面も含めてちょっと検討していった方がよいのかなあと感じました。

- 鈴木委員

AIドリルは子どもと接している方からするとやっぱり考えを書くことからするとちゃんと書きたいという中学生の子もそう言うことを言っている子もいて、そこはもう検討していく必要はあるのかなあ。それと、袋井の子にとって何が一番大切なのかというのが無回答を減らしたいとか、結果を見ながら袋井型授業についても先生方の授業改善としてはすごく良いんだけど、本当は子どもが考えたくなるそこだと思っています。そこに力を入れていって子ども達は自ら考えるとか取り組もうという所、その所を大事にしたいと考えていかないと、ちょっと方向を変えていかないといけないかあ。割と今ちょうど小学生の勉強を見ているのだけど、すぐわからない、やる前に言う。問題を読む前にわから

ないという、ちょっとすればわかるんだけど、その所がすぐ投げ出しちゃうという所があるので、やりたくなるというその意欲を醸し出すという、子ども達が楽しいなあとか勉強したいなあという所にもう少し力を入れるべきかなあと感じました。

### ●学校教育課長

子ども達が考えてみたい、学びたいという授業をやろうという方向性は一環しているんです。ただ書かないじゃなくて質的に子ども達にとって学び甲斐のある形とするための「?型の学習課題」、子ども達のニーズをきちんととらえていくことはこの3年ずっと続けています。ですから市教委、学校教育課の方針としては何も変わらないのです。ただ、それが実際に学校の中で実践されているかどうかという所については、粘り強く今もやっていますが、何らかの取り組みが必要かなと思っています。AI学習ドリルもそうですが、方策としては今一度考えていく必要があるかとは思っています。ICTについては単なる手段の一つであって、GIGAも入ってきた時にはとにかく使うことということでありましたけれども、もうその段階も過ぎていくかなあと捉えています。学校を訪問している中で、使わない方が子ども達の思考が活性化するんだというんだったらその授業では端末を使用するのをやめた方が良くと思いますし、学校もそのことを認知している人が多いのかなあと感じています。自分の考えを整理するという点では端末は、小学校高学年については、中学生もそうですが有効に活用されていますが、ただこれを使って議論しようよとなったらもう要らないですよ。議論も含めて全部端末でやろうとしている授業もまだあります。子ども達が端末に書いたものを見せるのではなく、自分の言葉で説明すれば良いじゃないかと思うのだけれど、その辺がきちんと整理できていない教員もいるかなあと感じています。そういった具体的な活用方法についても、もっともっと精度を上げなければならぬかなあと感じています。また、AIドリルについては個別最適な学びをしていく1つのツールですけれども、ただ個別最適も知識とか技能を獲得する個別最適と思考の個別最適とを分けて考えないとだめだよと話をさせていただいています。知識や計算力のような技能みたいなものを身に付けていくために、その子どもに合った効率的な問題に取り組んでいく、これがAIドリルであるという認識をしています。ただ万能ではないので思考の個別最適を進めていく時にはAIドリルはそのままは使えないとは思っています。AIドリルを使えば子どもの個別最適が全て網羅されると思っている職員がいたらそこはきちんと話をしていかなければならないと思っています。何にしても使い方、どうやって効果的に道具を使っていくかということは今一度話し合っていきたいと思っています。さきほど万里子委員がおっしゃっていただいたとおり、子ども達がすぐに投げ出すのではなくてちょっと考えてみたいなあという、一人ではわからなかったらみんなと話をしながら進めていきたいなあという、そういう授業を毎時間作ってもらいたいと願っています。その先に定量的なものの結果も自ずとついてくるのかなあと。まずは定性的に、子ども自身が楽しいなあと実感している、「今日は脳みそにいっぱい汗かいたよなあ」と思える、そんな授業をどんな学校でも展開できるようにしていきたいなあと思っています。

### ●教育長

静岡新聞の情報だと県の小数点の一位まで出していると思う。独自で出しているようなことを言っていなかった？

### ●溝口委員

全国では出していないけど、県は独自で出しているような気がします。

### ●教育長

整数と小数点一位のものを比較するのはいかがなものかと思しますので、点数はともか

くとしても県は小数点一位まで出しているような気がしていたので、もしも出ているのであれば参考程度にと。こういうペーパーの出し方をされるとどうしても定量的な評価しかできないので、学力調査は必ず学習状況調査もあるのでこれは必ずセットで出さないといけないといつも思っています。つまり袋井の子どももこんなに良い所がいっぱいあるんだぜという、これだとネガティブに映ってしまうので学力調査単独で出すのは絶対ダメです。今日はしょうがないですが。いつもセットで学習状況調査も必ず出してください。無回答の状況は記述式問題だけの無回答の状況ですか？例えば漢字が書けていなければそれも無回答？記述式問題の無回答を知りたい。漢字なんてわからなかったら書きようがないので無回答ですよ？でそれと記述式問題の無回答は意味が違うじゃないですか。知識の無回答と思考の無回答とは違いますよね。知りたいのは思考の無回答なんです。思考がどれだけ無回答があったかということを知りたいので。計算問題の無回答なんてそれはわからなかったら無回答ですよ。記述式問題の無回答を知りたい。

●鈴木委員

作文はやると言っているし、書く方は書くという。

●教育長

それと無回答の率を知りたい。よくわからないなど。例えば、小学校国語R 6年6.00パーセント無回答言っている。この6.0ってどういうこと？100人の内6人が無回答ということだったというそういう意味？

●学校教育課長

全体ですね。

●溝口委員

100問あったら6回答していなかったということなのか？

●教育長

理解がわからない、6.0ってどういう意味か。何百人と増えていて1つの問題に対していくつも問題があるわけですし、どういう平均をとっているのかが良くわからなくて。これどういう率？って私は思っています。

●吉田委員

私は全部の問題の中で6パーセントは書いてない率の平均だと思いました。

●鈴木委員

問題で無回答、問題ごとを全部トータルして。

●学校教育課長

確認します。

●教育長

知りたいのは記述式問題で思考力を問う問題の無回答率が一番知りたい。知識、技能は無回答はしょうがない。漢字がわからなければ書けない。

●吉田委員

それはそれで大事では。

●教育長

書くってことは大事。

●学校教育課長

記述式で本市の課題としては、「根拠を持って説明する力」を付けたいなあ課題としているのですが、その抽出した問題についてはやっぱり無回答が多かったです。抽出した1問についてぱっと見たところでは無回答の子が多いかなあと気になる所です。

●教育長

もう少し分析を細かにしていただくとありがたいと思います。

7 その他

(1) 連絡事項

ア 令和6年度静岡理科大学市民体験入学の実施について

イ モザイク画でパブリックアートをつくろう！

ウ お面づくり！えほんワークショップ

エ 歴史文化館ミニ展示「袋井・オリンピックの記憶」

(2) 次回定例会等の予定について

8月教育委員会定例会

令和6年8月21日（水） 午後1時30分 教育会館3階 ICT研修室

(3) その他

8 閉 会

(午後3時16分閉会)